

**重要なお知らせです。**

ご利用者 各位  
ご家族 各位

社会福祉法人 福祉楽団

**新型コロナウイルス感染症への対応について**

当法人の特別養護老人ホーム（ショートステイやグループホームを含む。）では、国際的な基準による「標準予防策」の確実な実行と、清掃や換気の徹底など、感染症対策を強化しています。

また、そのときの状況下でとりえる最善の療養環境を提供してゆきますが、感染者が増えた場合は、施設内で感染者の療養をすることも考えられます。

施設の状況や、病気の特徴についてご理解をいただきたくお願いを申し上げます。  
心配な点や、不明の点があるときは施設相談員まで電話でご連絡ください。

**1. 特別養護老人ホームは、感染症が起りやすい環境です**

高齢者や障害のある人が、同じ建物の中に、とても近い距離で住んでいます。病気を持っている人がほとんどで、介助は密接な接触を生じることが多いほか、認知症や障害などにより、手洗いなどの感染症対策についても理解し行動することが難しい人も一緒に暮らしています。これは自宅とはまったく違う環境です。

特別養護老人ホームは、感染症対策に万全を期していたとしても、ひとたび感染症が発生すると、あっという間に、集団感染が発生しやすい環境です。

**2. 新型コロナウイルス感染症の特徴**

感染していてもほとんどの人は、発熱もないし、何も症状がありません。このような場合は、発見することはほとんど不可能です。感染した人のうち2割くらいの人に何らかの症状が出るとされています。

主な症状は、発熱と、乾いた咳ですが、高齢者の症状の出方はさまざまです。また、発熱する病気は、ほかにもたくさんあるため、症状だけで病気を見極めることは、とても困難です。

高齢者や障害のある人は、体力も弱いので、発症すると重症になりやすいことがわかっています。新型コロナウイルス感染症は、重症化すると、肺炎が急激に進行し、数日のうちに死亡する事例があります。

**3. 発症したときの療養や対応について**

利用者や職員で、新型コロナウイルス感染症と診断された人や、濃厚な接触がある人がいる場合は、保健所などと連携しながら必要な対応をしていきます。

福祉楽団では、できる限りの療養環境の提供をし、その状況下での最善の医療的な支援を行いますが、以下のような急な状況変化にご理解をお願いします。

- ① 部屋（居室）や定員の変更を、事前の承諾なしで行うことがあります。
- ② 介護職員の負担の軽減や、長期的な療養環境の維持のために、勤務する職員の数を大幅に減らすことがあります。
- ③ 病院に入院できなくなったり、すぐに医師の診察を受けられないことがあります。

以上